

20 阪内川上流地域

1 地域の現況と課題

1. 地域の概要



基礎データ				土地利用現況
地域面積 (ha)	都市計画区域		合 計	
	市街化区域	調整区域		
人口	H.12	—	2,950.5	2,950.5
	H.17	—	1,371	1,371
	H.17/H.7	—	1,363	1,363
世帯数	H.12	—	0.994	0.994
	H.17	—	361	361
	H.17/H.7	—	439	439
人口密度 (人/h)	—	—	1,216	1,216
			0.5	0.5

種 別	面積 (ha)	構成比 (%)	備 考
宅地	55.3	1.9	
農 地	44.4	1.5	
非宅地	2,300.0	78.0	
山林・原野	550.7	18.7	
その 他	2,895.1	98.1	
小 計	2,950.5	100.0	
合 計			

地区別会議における主な意見			
<ul style="list-style-type: none"> 農地をどう残していくか。ほ場整備が終わった田は残していくたい。 病院や学校、保育所があるなど、まちの活気が必要。例えばみどりのまち、福祉のまちなど。 地域の背骨となっている国道166号の整備が必要である。 辻原西町線が地区内を含めて周辺集落の幹線道路になっている。中川駅方面へのアクセスルートとして利用されている。 ほとんどの通学路に歩道がないため、通学路への歩道の整備が必要である。 地区全体を通して、広場がない。できれば地区のまんなかに皆が集まれる広場がほしい。 矢津地区では山崩れが多い。 消防車等緊急車両が進入できる骨格的な生活道路の整備が必要である。 大河内城跡の歴史資源や阪内川を修景整備することで、良い観光資源になる。 			

2. 地域の課題

(1) 土地利用の課題

- ✓ 地域のほとんどが山地であり、周辺の農山村集落も含め、都市の身近な自然環境・自然景観の保全の観点から、森林整備計画等の諸計画との整合を図り、計画的な土地利用誘導を図る必要がある。
- ✓ 農地への植林の抑制や農地保全のための担い手の確保が求められている。

(2) 交通体系の課題

- ✓ 地域内交通アクセスの利便性の向上並びに周辺地域との連携を強化するため、都市幹線道路として機能している国道166号の機能更新を図る必要がある。
- ✓ (県) 辻原西町線は周辺集落の骨格的な道路であり、中川駅方面へのアクセス等として利用されているが、沿道集落の意向を充分踏まえて拡幅整備等を検討する必要がある。

(3) 公園・緑地及び自然的環境の課題

- ✓ 森林の持つ多面的機能を充分発揮させるため、森林資源の保護・保全を図る必要がある。

(4) 河川・海岸、下水道の課題

- ✓ 大河内町、辻原町、矢津町、勢津町、阪内町などの集落地は、農業用排水路の水質確保の観点から、農業集落排水施設の整備に努める必要がある。

(5) 集落地整備の課題

- ✓ 地域の活性化も含めて空き家対策が求められている。

(6) 安全・安心のまちづくりの課題

- ✓ 矢津地区では山崩れが多く、対応が必要である。
- ✓ 緊急車両等の進入が困難な骨格的な生活道路の整備が必要である。
- ✓ 学校周辺など、通学路への歩道の整備が求められている。

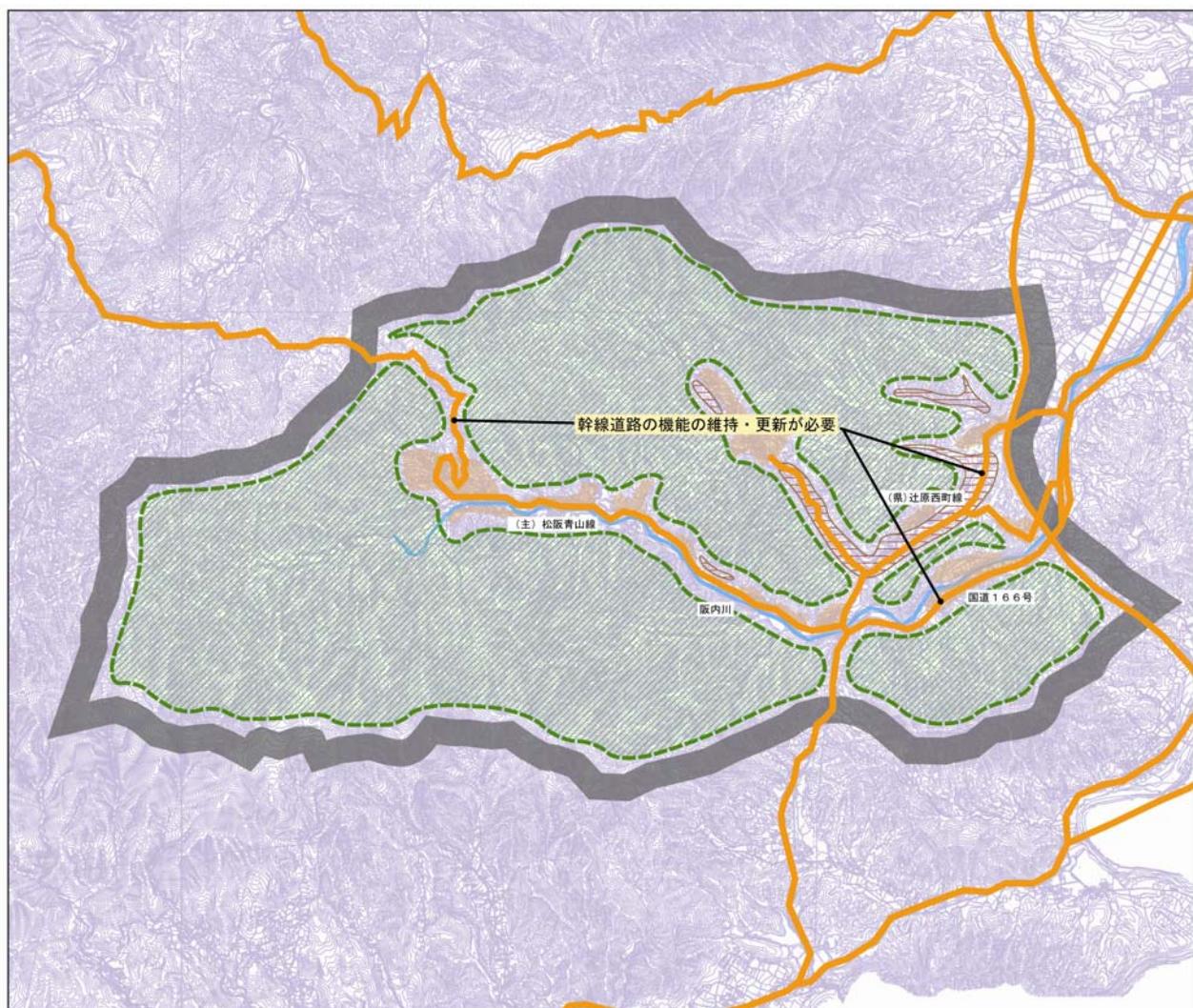
(7) 景観形成の課題

- ✓ 四季を楽しめる植栽による阪内川の修景が求められている。

(8) 観光のまちづくりの課題

- ✓ 大河内城跡などの歴史・文化資源や阪内川の自然の活用が必要である。

● 阪内川上流地域 地域別整備課題図



集落地としての生活環境を高める必要性が高い地区

優良農地として整備・保全する必要性が高い地区

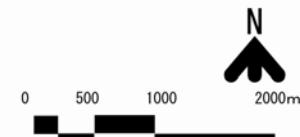
森林として保全する必要性が高い地区

主な道路

主な公園・レクリエーション施設

主な河川・水面

地区区分界



2 地域別構想

1. まちづくりの目標と主要な柱

健全な山地地域の維持・発展を図るため、集落環境の保全、森林・農地の保全に努め、山村と都市の交流の里づくりをめざす。

○まちづくりの主要な柱

集落環境の保全

森林の保全

農地の保全

2. まちづくりの基本方針

(1) 土地利用の方針

- 大河内町、矢津町、勢津町、辻原町、阪内町などは引き続き「集落環境保全地区」を配置する。
 - ✓ 「集落環境保全地区」では、集落環境の維持増進に努める。また、地域の活性化も含めて空き家対策の検討を進める。
- 農山村集落地を取り巻く森林は、「森林保全地区」として配置する。
 - ✓ 「森林保全地区」は、都市の身近な自然環境・自然景観の保全の観点から、森林整備計画等の諸計画との整合を図り、計画的な土地利用誘導を図る。
- 集落地周辺の農地等は、「農地等保全地区」として配置する。
 - ✓ 「農地等保全地区」は、農地への植林の抑制や農地保全のための担い手の確保促進に努める。

(2) 都市施設及び地区施設等の整備方針

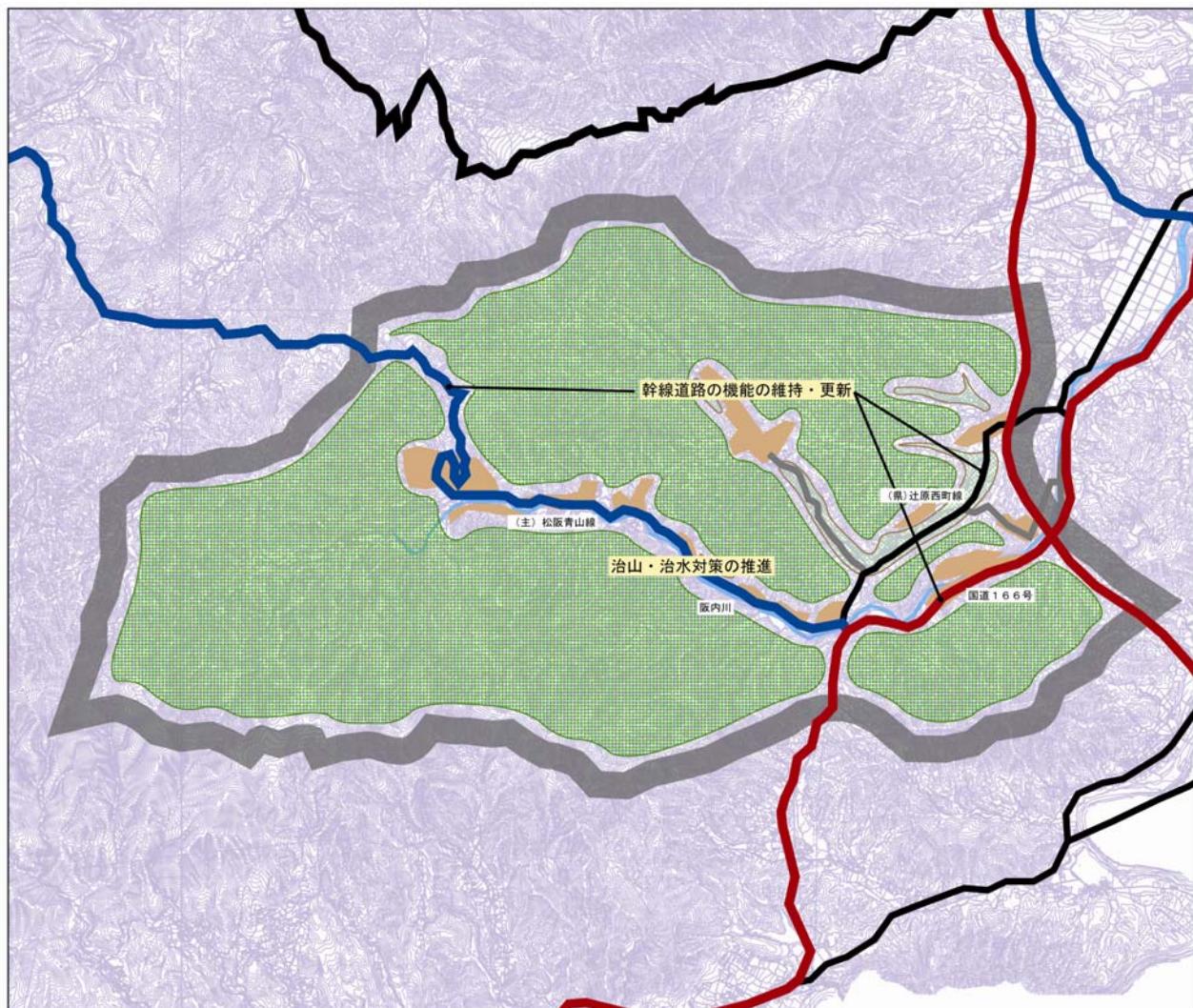
- ✓ 地域内の交通利便性の向上、周辺地域との連携を強化するため、広域幹線道路である国道166号の維持更新に努める。
- ✓ 周辺集落の骨格的な道路である（県）辻原西町線は、拡幅整備の促進に努める。
- ✓ 森林の持つ多面的機能を充分発揮させるため、森林資源の保全に努める。
- ✓ 大河内町、辻原町、矢津町、勢津町、阪内町などの農山村集落地は、農業用排水路の水質保全の観点から農業集落排水の整備に努める。

(3) 地域環境等の保全に関する方針

- ✓ 矢津地区などでは治山対策等に努める。
- ✓ 緊急車両の進入及び避難経路を考慮した骨格的な生活道路の整備促進に努める。
- ✓ 通学路への歩道の整備促進に努める。

- ✓ 四季を楽しめる植栽による阪内川の修景の促進に努める。
- ✓ 大河内城跡や阪内川の自然と文化の活用促進に努める。

● 阪内川上流地域 整備構想図



記号	凡 例	記号	土 地 利 用
赤線	広域幹線道路	緑色	低層住宅地
青線	幹線道路	緑色	中低層住宅地
黒線	補助幹線道路	黄色	一般住宅地
白線	主な生活道路	オレンジ	住商複合地
点線	鉄道・駅	黒点	近隣商業地
緑地	主な公園・レクリエーション地区	赤色	商業地
●	主要公共施設等	紫色	商工複合地
青線	主な河川・水面	青色	住工複合地
赤点線	市街化区域界	水色	工業地
		オレンジ	集落環境保全地区
		緑色	農地等保全地区
灰色	地区区分界	緑色	森林保全地区

